



こんにちは。
町長です。

平成30年度がスタートいたします。4月は町民の皆様にとっても、職場、学校、地域など様々な場面で出会いと別れが交錯する季節ではないかと思えます。

小鹿野町役場にも4月から新入職員が8人入ります。この小さな町役場では近年になく大勢の採用となりました。それも、ここ1、2年で大勢の退職者が想定される中で、このような人数となり組織の新陳代謝が進むものと存じます。

私は、この新入職員がいち早く職場の水になれ、活躍されることを大いに期待しております。

新入職員には、「町民ファースト」の姿勢を持ち続け、役場の仕事を通じて、お客様である町民に顔を向けて、町民のために何が出来るのかを絶えず考えて仕事に取り組んでもらいたいと思います。そして、仕事は3つのS「スマイル(笑顔)、スピード(迅速)、スリム(効率)」を基

本にされたいと存じます。

私は、今いる役場職員にも、このことは徹底させており、先輩職員として新入職員に徹底できるよう範を示してもらいたいと存じます。

町民の方から役場は民間企業等と違い、倒産もなく、安定しており、役場職員は恵まれていて、ぬるま湯につかっているなどのご指摘を受けることがあります。

確かに役場は、法令上や制度面など民間企業より保障されている部分があります。そのような中で役場は町民(国民)からいただいた血税で運営し、様々な行政サービスを行い、町民の安心安全な生活をとことん守りぬかなければならない、大きな責務を果たさなくてはならない訳であります。

そして現在、役場に求められていることは、複雑多岐にわたっており、社会経済情勢も目まぐるしいスピードで変化する中であって、実際の業務に携わる役場職員一人ひとりの更なる資質の向上が求められており、それが出来るかどうか町民の命運を握っていると痛感しております。

小鹿野町長 森 真太郎